

## 土木のお仕事ってどんなものだろう

### 土木学会

土木は、道路、鉄道、上下水道、電気など一人一人の日常生活に欠かせない様々な基盤整備を担っています。また、地震、津波、洪水、斜面崩壊などの災害から、命と資産を守るための基盤整備の担い手でもあります。私たちのくらしにとっても身近なのが土木です。

# 土木学会の紹介

土木学会は、土木に関わる専門家や研究者約4万人が参加する団体で2014年に百周年を迎えました。

## 活動の三本柱

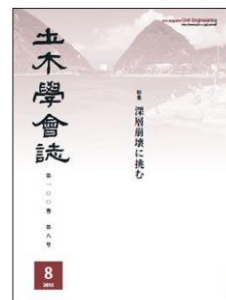
### 学術・技術の進歩への貢献

- ◆ 専門委員会による調査・研究活動
- ◆ 書籍の出版
- ◆ 優れた土木事業・技術の表彰



### 社会への直接的貢献

- ◆ 緊急災害調査団の派遣
- ◆ 新技術の活用促進



### 会員の交流と啓発

- ◆ 土木学会誌の発行
- ◆ 全国大会（毎年9月）
- ◆ 土木学会認定土木技術者資格制度

# ロールモデルの紹介1

- この分野をめざした理由

高校生のころ、近所の下水処理場の見学に行きました。下水処理場の下水をきれいにするという機能にも感心しましたが、市民のために屋上をサッカー場や公園として開放していることに驚くとともにそれを担っているのが土木工学なんだということ知り興味をもちました。

- 研究の内容

土質力学、トンネル工学

- ワークライフバランス

土木分野の中でも、コンサルタントに所属しています。いつでも、どこでもできる仕事なので、ライフを大事にしながら、自分の裁量でワークを実施することが可能です。



# ロールモデルの紹介2

## ・この分野をめざした理由

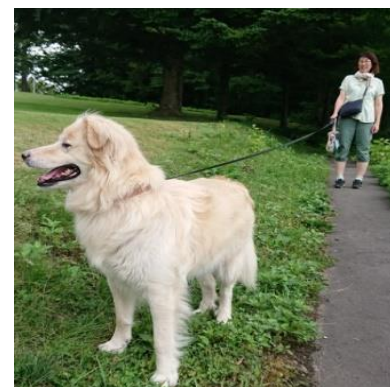
ものづくりが大好きで、設計から現場まで携われる仕事を選びました。秋田県が大好きなことを他へPRしたい思いがいっぱいです。

## ・小さいころから好きだったことや科目など

図工、美術、家庭科が得意。料理や絵を描くことや工芸が大好き。ものがつくられていく工程を自分の手で造り上げることが大好き。

## ・土木職のやりがい

建設業界の3割は公共投資(7割民間)で、3割のうち8割が土木になります。(2割が建築等)言い換えると、土木は公共事業で活躍する業界です。土木に携わることは『公共の福祉』に携わることです。県民の安心・安全を確保することができるやりがいのある仕事です。



# ロールモデルの紹介3

- この分野をめざした理由

土木技術者にはよくある話ですが、高校時代は建築士をめざし受験活動を行っていました。ただ、大学では建築と土木の両方学ぶ機会があり、徐々に土木へ魅かれていきました。大学講義で先生から聞いた「土木技術者は地球の彫刻家」という言葉が私の進路を決定づけました。

- 研究の内容

海岸工学、環境学、官民連携

- ワークライフバランス

自分の会社には、女性の技術者として活躍する先輩はほとんどいませんでした。

当学会に参加し、同業の女性先輩方が活躍していることを知り、お話しさせていただく中で、いろいろな働き方があることがわかり、とても励みになりました。私は、社外でロールモデルを見つけることができました。



# 女子中高生へのメッセージ

- 土木分野のおすすめポイント

産(企業)・管(役所)・学(大学)が、それぞれ、ライフラインが安全に維持できるように、研究、計画、調査、設計、施工、維持管理といった分野に携わっています。性別や就業形態に関係なく働きやすく、活躍できる環境にあります。

- 土木分野はどのように社会に役に立つか

土木工学はcivil engineering(シビルエンジニアリング)とも言われている。まさに、市民のための技術です。ライフラインの構築、維持管理を担っている土木分野は、直接的に社会に貢献できる分野であります。

- 土木分野の勉強について

古典である三力(さんりき)(構造力学、水理学、土質力学)に、加え、環境分野、情報分野が加わり、様々な分野が融合しています。世の中の様々な事象に興味をもつ必要があります。